

新型ランサムウェア (Phobos) による被害が発生！

フォボス



ランサムウェアとは…

感染させたパソコンのファイルを勝手に暗号化するなど、パソコンに制限をかけ、その制限解除と引き替えに金銭等を要求するウイルスのこと

新型ランサムウェア「Phobos」 (ファイルを暗号化した旨が記載された画面)



主な特徴

- ◆ ウイルスに感染後、暗号化した拡張子を「.Phobos」に変更し、解除するためには指定したメールアドレスへ連絡が必要である旨の画面を表示
- ◆ ネットワーク経由で感染を広げる。セキュリティ設定がされていないリモートデスクトップ機能を介して感染させ
- ◆ ランサムウェア「Dharma」との類似点が複数指摘されている

ダルマ

※ 「Phobos」とは、ギリシャ神話で「恐怖の化身」とされている神のこと

※ 宮城県内においても、企業がこのウイルスに感染し、ファイルが暗号化されたために、事業が継続できなくなるといった事案が発生しています。

対策

- ウイルス対策ソフトの導入
- OS等のソフトを最新の状態に更新し、脆弱化を防ぐ
- メールの添付ファイル、リンク先に安易に接続をしない
- 発生時に備えて、定期的にバックアップを作成し、外付けのハードディスクに保存する

感染時は…

- 金銭を支払っても復元できるとは限らないので、犯罪を助長しないためにも金銭は支払わない
- 他の端末への感染を防ぐため、感染端末をネットワークから外す
- 最寄りの警察署に相談する

